

地域学科 人間形成コース

募集予定

4人

わたしの
AO入試
(現 総合型選抜)



地域と関わりながら子どもたちの成長を見守りたい

鹿児島県徳之島で育った私。「子宝の島」と呼ばれる徳之島では、昔から地域の人たちみんなで子どもを育てる慣習があります。私も近所の人たちに温かく見守られて大きくなりました。そんな地元が大好きで、将来は地域と関わりながら子どもたちの成長を見守れる先生になりたいと思いました。鳥大地域学部の「地域教育学」は、まさに私が学びたいと思っていた内容だったので第一志望に決めました。地域のボランティア活動や書道に励んでいた私を見て、高校3年の時の担任の先生がAO入試を勧めてくれました。しかし、定員4人という狭き門に最初は怖気づきそうになりましたが、「チャンスは多い方がいい」と覚悟を決めて、頑張ることにしました。

大学合格がゴールじゃない。大学でどう過ごしたいかを考えて

AO入試を決めた頃にボランティア活動で知り合った元大学教授から、「大学に受かることがゴールじゃなくて、大学でどのように過ごしたいか。どんな大人になりたいかをよく考える時期だよ」とアドバイスをもらいました。受験を前にすると試験に合格することばかり考えてしまいますが、「そこがゴールじゃない」と気付かせてもらった大切な言葉です。面接の練習をしても、自分の思っていることを言葉にするのが難しく落ち込むことが何度もありましたが、先生から「受験勉強は大変だけど、来年の4月に自分の行きたい大学の入学式に立っている自分を想像して」と言われて、落ち込んだ時は鳥大の入学式に立つ自分を想像して頑張りました。

2年

まきどの まなか
牧園 愛夏さん

鹿児島県立徳之島高等学校出身

MY FAVORITE TOTTORI

地元と重なる素敵な景色

自然が豊かで空気がきれい、景色も素敵で、私の地元と重なる部分が多く、とても暮らしやすいです。人柄もよく、鳥取も温かくて優しい人がたくさんいるなと感じています。

全文はWebで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2020年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2021年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

地域教育のキーパーソンをめざすために必要な、確かな基礎学力、柔軟で創造的な思考力と表現力、他者と共働して問題解決する力を求めます。

小論文	小論文は2つの設問で構成しました。設問Ⅰでは、ノーベル平和賞受賞者であるマララ・ユスフザイ氏の自伝『I Am Malala』の英文原著を出題文としました。英語能力を問う和訳形式の問題を1問と、学校教育の普遍的価値について思考をめぐらせる論述形式の問題1問を課しました。設問Ⅱでは、学力と評価について論述されている金馬国晴氏の論文「さまざまな学力調査と学習指導要領」を出題文としました。日本語による基礎的読解力を問う問題1問と、学ぶことの意義や意味について改めて考える論述形式の問題1問を課しました。試験時間は120分でした。
口頭発表	①児童虐待を防ぐ取り組み、②幼少期の自然体験の必要性、③ICTとこれからの学習活動、④学校統廃合が与える影響、の4つのテーマをその場で提示し、そのうちいずれか1つを選び、5分間で考えをまとめ、3分間で自分の意見を述べる課題を与えました。また、発表内容について質疑応答を行う時間を5分程度設けました。
グループディスカッション	冒頭に簡単な自己紹介させた後で、現役の高校生が制作したドキュメンタリー映像作品「学校に宿題は必要か?」(NHK放送、約8分)を視聴させました。その後、自らの意思で宿題実施の賛成派と反対派に分かれさせた上で、作戦会議とディベートを交えながら議論を1時間程度行わせました。
個人面接	4人の面接官により、1人当たり15分程度の面接を行いました。志望動機と大学での学びや生活への見通し、将来の展望を問い、回答内容に応じて質疑応答を行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性
2次(小論文)	○	○	○	
2次(口頭発表)		○	○	○
2次(グループディスカッション)		○	○	○
2次(面接)	○	○	○	○